



カリオン

Vol. 17



2012年7月

発行 姫路赤十字看護専門学校
 発行責任者 学校長 湯浅志郎
 編集責任者 事務部長 舟曳健次
 〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
 TEL/FAX 079(299)0052(直通)

ナイチンゲール祭を終えて



1年生のときはナイチンゲール祭がどのようなもののか分からず、先輩がやってくれているのを見ているだけでした。いざ私たちが運営する立場になつても、何から始めていいのか分かりませんでした。

先輩に聞いたり、同級生の委員仲間と相談したりしながら手探りで進めていく中で、先輩方が代々受け継いでこられた伝統を壊すようなことにならうしよう、当日上手く進行するだろうかと、プレッシャーに押しつぶされそうになったときもありました。クラスの友達や先輩が、「お疲れさま」「がんばって」など声をかけてくれ、勇気づけられ、今年も無事終えることができました。

ナイチンゲール祭を終えて、何かを作り上げていくことの大変さを学びました。みんなの意見を聞き、まとめることは本当に難しかったし、病棟との連携も大変でした。しかし患者さんから「よかったよ、ありがとう」という言葉をいただき、学生からも「患者さんに喜んでもらえた」「自分も感動した」という声をたくさん聞けたのでよかったです。

周りの人の理解と協力があったからこそ、心に残るナイチンゲール祭になったと思います。ありがとうございました。

(クラスⅡ：ナイチンゲール祭委員)

行事予定 (平成24年前期)

- | | |
|--|---|
| 6月
4日(月)・5日(火)・6日(水) クラスI 基礎看護学実習I - 3
6日(水) クラスI 基礎看護学実習I のまとめ・発表
8日(金)～26日(火) クラスII 成人看護学実習I | 8月
5日(日)・6日(月)・7日(火) オープンキャンパス |
| 7月
7日(土)～9日(月) クラスII 本社研修・レクリエーション
27日(金)～8月30日(木) 夏季休業 | 9月
5日(水) クラスIII 「看護の実践哲学」ケースレポート発表
18日(火)～9月27日(木) 期末試験
28日(金) 球技大会
30日(日) オープンキャンパス |

姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

【教育目標】

- 1)人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3)人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。



- 4)赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5)人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6)健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7)看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8)保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9)赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

第111回生 卒業式

姫路赤十字看護専門学校 卒業式



卒業を祝う会

3月7日(水)・8日(木)

ホスピタルクラウン



平成24年3月7日・8日、「卒業を祝う会」を行いました。

今年は、多目的ホールでの卒業パーティー、大棟耕介さんを招いての講演会を企画しました。先輩方には、卒業の瞬間まで111回生のトレードマークである笑顔を忘れてほしくないと思い、『笑いと涙』というテーマを挙げました。

企画していくなかで、意見を統一していくこと、時間調整を行い行動していくことの難しさを実感しました。在校生の意見を聞き、祝う会委員で話し合い、みんなで協力し合いながら、無事に卒業を祝う会を作りあげていくことができました。

ホスピタルクラウンの第一人者である大棟耕介さんの講演会は、心に残るものとなりました。これから旅立つ先輩方に向けて、社会に出た時のコミュニケーションのとり方を伝えて下さいました。この講演会を通して、私たちは患者さんの気持ちを考え、寄り添うことのできる看護師になりたいと改めて思いました。

二日間の祝う会を終えたとき、たくさんの人から「ありがとう」や「楽しかったよ」と感想を聞くことができました。正直、企画していて諦めたくなったり投げ出したくなったりすることもありましたが、このような声を多く聞くことができて嬉しく思い、これまでの私たちの思いが報われたときでもあり、達成感を感じることが出来た瞬間でした。

ご協力くださったみなさま、本当にありがとうございました。

(クラスⅢ：卒業を祝う会委員)



第101回 看護師国家試験全員合格!!



第101回看護師国家試験分析

第101回看護師国家試験の全国合格率は90.1%であった。本校は今年も全員合格することができた。今年度は「看護の統合と実践」の出題の動向が注目されたが、明らかに出題されていると思われる問題はなかった。一般と状況設定問題は、午後の問題は長文で読解力が要求された。しかし、基礎知識がしっかりしていれば、解答できる問題であった。

来年も全員合格するよう今回の国家試験の特徴と受験対策をまとめたので、参考にしてほしい。

- ①超高齢社会を反映して「老年看護学・在宅看護論」関連の内容が増加している
→認知症や在宅看護の基礎的知識を身につけよう
- ②図式で排液バックをかける位置やグラフから血液データや死亡率を読み取る問題が出題された
→検査所見からイメージできるよう、臨地実習での経験を大切にしよう
- ③看護師国家試験の頻出・重要である問題は、変わらず出題されている
→5年分の過去問を解き、覚えるべきキーワードを理解しよう
形式が変わっても戸惑わないよう、確実な知識を身につけよう

(専任教師：井上 恵実)



看護師になることで人の苦しみや悲しみを軽減させることができます。今年、国家試験を合格し、看護師としての自覚をしているところです。今は、ICU勤務で不安と緊張が入り混じっていますが、自分の苦手な分野を克服するためにもっと勉強していきます。

(姫路赤十字病院ICU勤務新人看護師)



看護師として働き始めて一か月半が経ちました。憧れの看護師になれたことを嬉しく思うのと同時に、なかなか動けない自分に不安を感じています。

できるだけ早く患者さんにとって良い看護を提供できるよう、毎日笑顔で頑張りたいと思います。

(平成23年度卒業生
姫路赤十字病院 7階西病棟勤務)

卒業生から 一言



6階西病棟では、術前術後や、疼痛コントロールをされている患者さんなど様々な疾患の患者さんが入院されています。覚えることがたくさんあって大変ですが、新しい発見もあり、毎日充実しています。

(平成23年度卒業生
姫路赤十字病院 6階西病棟勤務)

ひとつひとつのことをこなすことに必死ですが、先輩方が熱心に指導してください、また、勉強会などもたくさん企画されており、充実した毎日を過ごしています。患者さんとコミュニケーションをとることを大切にしています。

(平成23年度卒業生
姫路赤十字病院 8階東病棟勤務)

第114回生 入学式



新入生宣言

東日本大震災から1年が過ぎ、日本は少しずつ復興に向かっています。しかしながら十分とは言えません。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、1日も早い復興を願いつつ、震災の記憶を風化させぬよう努めなければなりません。被災地の様子を映像で見る度に、救急・災害看護の必要性を強く感じ、早く看護師になって人の役に立ちたいと思うばかりです。

これから始まる学校生活に期待が膨らむと同時に不安もありますが、知識・技術はもちろんのこと、患者さんの立場に立って考え、行動できる優しい看護師になるために、勉学に勤しむことを誓います。

(入学生代表)

クラスI



私たち114回生がこの姫路赤十字看護専門学校に入学してから、早1ヶ月半が過ぎました。

114回生は総員42名の毎日笑い声がつきないとても明るいクラスです。

この2ヶ月は入学して間もなくナイチンゲール祭の練習が始まり、基礎看護学実習、赤十字社兵庫県支部訪問、ナイチンゲール祭、病院フェスタなどの行事が目白押しであっという間に過ぎていきました。右往左往しながらも無事に終えることができました。赤十字の学校だからこそ学べる様々なことに、感動や達成感を覚えました。

ボランティア活動や、実習等を通して少しずつ看護学生として自覚し、赤十字社の一員であることを確かめているところです。諸先生方、先輩方の背中を見ながら、114回生全員で切磋琢磨しながら成長していきたいです。



神戸まつりボランティア

(クラスI)

(写真掲載の許可を得ています)

クラスⅡ

私たち2年生は、新しく1年生を迎えて、学校の中心となる学年になりました。慣れないことばかりで初めは戸惑うことが多かったのですが、クラスや委員内で協力し合い乗り越え、より結束が強くなりました。中心として動いていく中で、今までの委員などの仕事をそのまま引き継いで同じようにしていくだけではなく、自分たちが新たに改善してより良いものにしていくことが大切だと学びました。確かに、新しい試みをすることは容易な事ではなく労力もいますが、このような経験を通してより成長することが出来ると思いました。

(クラスⅡ)



ナースングール委員会



第4ブロック合同災害救護訓練

クラスⅢ

112回生 3年生になりました！



2012年春、私たち112回生は最高学年の3年生になりました。

全員揃って卒業しよう～報連相を収穫しよう～という目標を立て今、領域別実習に精一杯取り組んでいます。



4西(母性) お産に立ち会い生命の誕生に感動し、母と子の成長を見て日々母性観を深めています。

5西(成人・老年) 五感を通して患者さんを知ることの大切さについて学んでいます。

5東(成人・老年) 患者さんが回復していくことを共に喜んでいます。

7西(成人・老年) 患者さんの状態に合わせて良い看護が出来るように頑張っています。

7東(成人・老年) 患者さんの気持ちに寄り添う看護を目標に頑張っています。

8西(小児) 毎日かわいい子どもたちに癒されています。

8東(成人・老年) 患者さんとゆっくり関わりながら化学療法や輸血など様々なことを学んでいます。

職員紹介



湯浅 志郎 校長

内科医、専門は肝臓疾患。人間が生きる基本は「食べること」「排泄すること」「眠ること」の3つである。看護師さんはこの3側面をしっかり観察してほしい。患者中心の医療を実現するために患者さんとそのご家族、医療チームが一体となって問題解決に取り組むマイクロシステムを推奨している。

新カリキュラムで教育を受けた卒業生が巣立ちました。本校の育成したい看護師は、卒業後に「状況が変わっていく中で、行動しつつ考えられる看護師」に成長することです。卒業生の「考えることを学んだ」「リフレクションすることで成長できた」という言葉を嬉しく聞きましたが、これから臨地での成長こそが評価だと思っています。

臨地実習での体験を大切に、リフレクションを行い自分自身と対象への理解を深め、関係性を築きながら、臨床の皆さん、教職員とともに学んでいきましょう。



柳 めぐみ 副校長



船曳 健次 事務部長

この3月まで中山間地域の県立柏原病院で勤務し、医師の偏在がもたらす地域医療と地域社会を目の当たりにしてきました。今、都市部、地方を問わず“看護師が足りない”状況が大きな課題となっています。

引く手数多の時代でこそ、自分自身の将来像を描きつつ、変動する医療現場に対応できる幅広い人生観をもった人としての成長を期待しています。今後とも、よろしくお願いします。



田畠 淑子
基礎看護学(教務主任)



山田 道代
統合分野(実習調整者)



名村 かよみ
在宅看護論



松井 里美
精神看護学



藤元 由起子
成人看護学



井上 恵実
老年看護学



西谷 由子
母性看護学



神戸 真由美
小児看護学



藤田 美佐子
精神看護学



中島 啓子
基礎看護学



尾形 治美
事務



中嶋 和美
事務

歴史シリーズ

平成21年（2009年）姫路赤十字看護専門学校が創立100周年を迎えたことを記念して100年史を発行しました。学校にある、記録文書・教科書・参考書籍・記録写真・実習室看護物品など様々な史料を掲載しています。編集のため古い史料を探していると懐かしさに手が止まつたことも…改めて姫路赤十字看護専門学校の歴史を感じ、卒業生であることを誇りに思いました。

（専任教師：松井 里美）



学校自己点検・自己評価

学校関係者評価：保護者の参加

看護師等養成所における学校評価の実施について、平成23年3月「看護師等養成所の運営に関する指針要領について」の一部改正等により看護教育制度上、実施・公表が義務化されました。

日本赤十字社においても、赤十字の特色ある教育内容の充実を図ることを目的に、赤十字共通の指針を作成し、平成19年度より「自己点検」・「自己評価」の実施および公表を推進してきました。今般さらに文部科学省に準じ、平成23年12月に策定した「日本赤十字社学校評価ガイドライン」において、保護者の皆様に参加していただく「学校関係者評価」を実施することが追加されました。

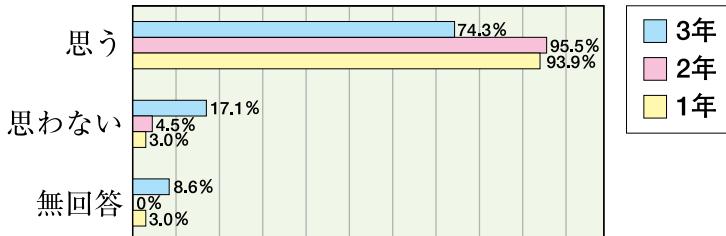
本校においても、ガイドラインに則り、よりよい学校運営を目指して、平成24年3月29日（木）、初めて保護者参加の学校関係者評価を行いました。1年生3名、2年生3名、3年生1名の保護者にご参加いただき、「自己評価」の概略を説明し、意見交換を行いました。保護者の方々からは、臨地実習中の指導体制や、態度面での指導についてのご意見や質問があり、活発な意見交換となり、予定時間を過ぎるほどでした。

今年度も学校関係者評価を開催予定です。ご協力をよろしくお願い致します。

（副学校長：柳 めぐみ）

保護者アンケート結果

○学校の教育理念の説明はわかりやすいと思いますか



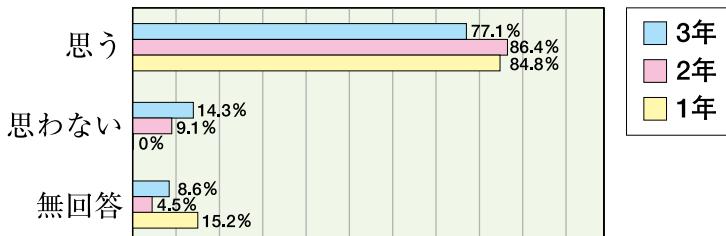
教育を改善する目的で保護者の方々にアンケートをお願いしています。回答率74%と多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。

今回は「学校便り・保護者会・ホームページ等で、学校の教育理念などをわかりやすく説明していると思いますか。」「学生の能力や努力を学校は適切に評価していますか。」の結果をお伝えします。

どちらも3年生に肯定の割合が低く、臨地実習の評価が関係しているのかと思われます。実習指導体制の見直しを図りたいと考えております。

（副学校長：柳 めぐみ）

○学生の能力や努力を適切に評価していると思いますか



☆ ナイチンゲール祭ができるまで ☆



季節の花々



「紫露草(ムラサキツユクサ)」



学校の裏庭に
“紫露草”がきれ
いに咲いてい
ます。

明治の初期に
北アメリカから
渡来し、露草に
似ていることか
らこの名前が付
いたようです。
放射能の害を一番に受けやすい染色体を持っているよう
で福島原発サイトにもこの花が植えられています。今年も鮮
やかな紫の花を咲かせてくれているでしょうか。

(専任教師：中島 啓子)

オープンキャンパスのお誘い

日時：8／5(日)・9／30(日)午後のみ
8／6(月)・8／7(火)午前・午後
内容：本校の施設見学や在校生による催し

要予約 (079-299-0052)

※保護者の方、高校の先生方の参加も大歓迎！

編集後記

新年度がスタートした。学校生活を通して、今年迎えた1年生がどのように成長するのか、2年生3年生がどのようにたくましく変化するのか楽しみな毎日である。

今年度は、カリオン編集に強い味方ができた。学校生活を記録に残すべく、念願の広報委員会が創設され、その一環としてカリオンの編集にも携わってくれることになった。2006年6月に創刊されたカリオンに新しい息吹を吹き込んでくれることを祈っている。今後のカリオンにご期待ください。

(専任教師：名村 かよみ)